

## ● シーン演出表

番号	舞台	演出
0	カブキ	叩きつけるような大音量で響く最新のニューロビート。背景には繁栄のシンボルであるアーコロジー群が見える。しかし、その足下近くに横たわるスラムはあまりにも暗い。繁栄の陰で処理され消える者たちを誰が気にするのだろうか？
1	バサラ	軌道のエネルギー衛星、アマテラスから日本の富士山へ降ろされたピンクの光芒がN◎VAを照らしている。そんなテクノロジの極みが発する輝きすら、この街の雑踏に店を開く古い師は演出としていただいている。さて、今日の運勢はどうだろうか？
2	タタラ	技術屋向けのショップには、その筋の容し入れたくないことを意思表示するように拒絶的な店構えも多い。通路にまでジャンクが山積みになれ、看板はなく、照明も点いていない。だが、勇気を出して入ってみれば世界が広がるかもしれないぜ？
3	ミストレス	入りやすい店。それはウェブや噂話でよく見聞きする評判の店かもしれないし、キミの直感がそう示したのかもしれない。今いる場所もそういうところだ。ほっとする。ひとまずはあたりの店に入れたようだが、さて、次に何をしようか？
4	カプト	何かを調べているとき、その本丸に攻め込めないことはままある。多くの場合、それは誰かがそこを守っているからだが、逆に考えよう。そういうやつらをカモにしてやれば、真相に一歩近づける。ってね。さて、そうと決まれば行動だ。
5	カリスマ	緊急番組のジングルが流れ、そこらのスクリーンが一齐にチャンネルを切り換える。この街ではままあることだが、今度は何が始まるというのだろうか。さて、キミは雑踏のひとりになってそれを眺めるかい？ それとも、もっと面白いことがあるかな？
6	マネキン	誰かとの対話、それはとても重要なことだ。仲がいいにしろ悪いにしろ、何かしら得るものがあるだろう。だが、その会合自体が危険なものかもしれないし、結果として何らかの危険が生まれてしまうかもしれない。それでも、行くしかないのだが。
7	カゼ	林立するビルの間を猛スピードで飛ばしていくバイクや車。キミは彼らの中のひとりなのか、それとも彼らを眺めているのか。彼らが従うルールはシンプルだ。すなわち、勝者がすべてを得る。キミは勝者になれるのだろうか、それとも？
8	フェイト	真実というものはいつも深いヴェールの中に隠されていて、それを白日の下に晒すには、実行行使が必要な時もある。つまり、今だ。今、キミはそれをなそうとする意志があるはずだ。ならば、ヴェールを剥ぎ取り女神の顔を見るのがよい。
9	クロマク	闇の中から長い手を伸ばし、物事を自分の思い通りに操るやつら。そのほとんどは都市伝説であり陰謀論だが、まれに本物がいる。彼らに目をつけられれば厄介事からは逃れえないが、役得だってあるし、それを請求する権利くらいはあるはずだ。
10	エグゼク	様々な車と人が行き交うラウンドアバウト。よく考えれば、この街もまたひとつの巨大なラウンドアバウトかもしれない。ヒトとモノは行き交い、行き違い、いつか巡り合う。キミが探している何かは、もしかしたらここで見つけられるかもしれない。
11	カタナ	N◎VAで満たせない欲望はない。食欲、睡眠欲、性欲、エトセトラエトセトラ……キミの欲望だって、きつと満たせるはずだ。だが、それにはちょっとした代償と危険だって伴うかもしれない。それでも望むなら、この街の闇を覗くがいい。
12	クグツ	見えない鎖のついたクグツたちがオフィスへと行進するラッシュアワー、人ごみに隠れて何かをやるにはうってつけの時間帯。あるいは、キミは彼らの同僚なのだろうか？ 組織への束縛とは、その分の力が得られる魔法なのだからね。
13	カゲ	何かを待っためか、何かハマをしてしまったのか、はたまた他の理由からか。キミは闇の中にその身を潜めている。まあ、長い人生そういうこともあるものだ。命の洗濯をするのも悪いことではないし、思わぬ出会いがあるかもしれない。
14	チャクラ	ホワイトエリアからレッドエリアへ、光から闇へ。時に身を粉にしながら靴の裏をすり減らして捜査をすることも必要だ。ニューロエイジでもっとも重要な情報は、ウェブに繋がってないソースから得られるものかもしれないのだから。
15	レッガー	この街に職業的犯罪者というやつは佃煮にできるくらいごろごろしている。やつらが色々な意味で強いのももちろん、そういうやつらがいた方が得をする輩が多いのもその理由だ。キミが探している情報も、彼らから聞き出せるかもしれないしな。
16	カプトワリ	高層建築物の上層階。ここからはこの街がよく見える。有頂天で歩いてるやつら向こうからは暴走車が走ってくるし、周囲を用心深く伺ってる不審者は後ろに迫る人影に気づいていない。それはそうと、キミの後ろは大丈夫かい？
17	ハイランダー	瑞々しい木々の間には清らかな水が流れ、夜空には星がまたたく。この街にだってそんな場所くらいある。もっとも、それには莫大なクレジットが必要だ。そういうやつらの牙城になら、何かおいしい話のひとつやふたつ転がってるだろう。
18	マヤカシ	背景にはすべての光を吸い込むように屹立するイワヤトビル、そしてその奥に横たわる日本本土。N◎VAの繁栄は、あの不気味な沈黙に許されただけの夢なのだろうか？ そんなことを考えてしまえばそうなくらい、この街の闇は深く、暗い。
19	トーキー	街頭のホロヴィジョンには最新のニュースが踊り、道行く人々は足を止めてそれぞれの群れごとにニュースをネタに勝手なことを喋っている。キミは噂に耳を傾けてもいいし、歩み去ってもいい。それとも、ニュースの発信元に心当たりがあるのかい？
20	イヌ	周囲には立ち入り禁止のテープが張り巡らされ、イヌたちがうろろしている。事件があったのか？ それとも警備が厳重なだけなのか？ いずれにせよ、ここには重要な情報がありそうだし、周りにいるやつらも何かしら利用できるかもしれない。
21	ニューロ	複雑に絡み合ったウェブの中に築かれた隠れ家のようなコンプレックス。そこでは、さまざまなモノに似せたアイコンを纏ったやつらが、玉石混交の情報をやり取りしている。彼らの言葉は信用できるだろうか？ それを判断できるのはキミだけだ。

## ●シーン演出表（マイナスイナンバー）

番号	舞台	演出
-18	アヤカシ	昼間のN◎VAとはルールが違う、水鏡の向こう側。それぞれ、アヤカシたちが闊歩する黄昏の領域だ。ここではマンデインの地位や肩書きはあまり役に立たない。もっとも、キミはここでしか役に立たない素質を持っているかもしれないがね。
-9	カゲムシャ	悪徳に満ちたN◎VAの裏側には、ちょっとだけ息をつける場所がある。そこでは誰も隣人のことについて訊ねないし、訊ねてもいけない。そういう場所だと全員が分かっているから維持できているコミュニティだ。さて、しばらく休むかい？
-7	アラシ	外界の爆音や喧騒とはシャットアウトされたマシンの胎内にキミはいる。ここは安全な場所だ。しかし、モニタ越しに見える薄皮一枚隔てた向こう側は見ての通りの鉄火場だ。ともかく、安全なうちにできるだけことはしようじゃないか。
-2	クロガネ	身につけているアウトフィットから声が聞こえた気がした。たまたま、道具や機械の音が聞こえてくるというサイコ野郎がいるが、キミもその仲間に入ってしまったのだろうか？ それとも、本当にそいつにゴーストが宿っているのかな？
-1	ヒルコ	ヒルコ街。公式にはいないことになっているミュート、ヒルコたちにとって安住の地だ。彼らは通常の人間たちを警戒しているし、人間たちも彼らに対しては及び腰だ。だからこそ、よしみを通じれば深い友にもなれる。キミはどうするかい？

## シーン演出表

『トーキョーN◎VA』をプレイするにあたってしばしば問題になるのが、とっさにシーンを演出しなくなった場合、どう演出するかを即座に思いつけないことである。

ニューロデッキはタロットのようなものであるから、シーンカードをリーディングするという手もある。しかし、これでもそれなりに時間がかかることがあるし、精神力も消耗する。

そこでここに提供するものが、シーンカードに合わせてより具体的な短文が書かれたシーン演出表である。

RLやプレイヤーは、シーンカードを引いてからシーン演出表の『演出』欄に書いてある文章を読み、シーンを開始するといふ。なんとなく“それっぽい”文章になるように書かれているので、演出していく手がかりになるはずだ。

もちろん、文章はあくまで参考で、いわば想像の翼を羽ばたかせるための滑走路である。他にももっといい案を思いついたらしめたものだ、それをRLや他のプレイヤーに提案してみよう。そうすることで、あなたのアクトはより華やかに、色鮮やかなものになるはずだ。

この文書であなたのトーキョーN◎VAライフがより豊かになるのなら、それは望外の幸いである。

この文書の作成にあたってはこれまでに出版発表された『トーキョーN◎VA』シリーズを参考にするとともに、筆者がこれまで触れたタロット関係の書籍、画像、識者との会話などから多くのインスピレーションを得ている。最後になるが、併せて感謝の意を捧げたい。

それでは、よいアクトを！